

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピュアフレンド		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 23日		~ 令和 8年 2月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52世帯	(回答者数) 28世帯
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 23日		~ 令和 8年 2月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 17名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	スタッフの声を反映させた支援計画と見える化	日頃の様子をかかわったスタッフがケース記録に記入し、いつでも情報共有できるようにしている。支援計画を個人ファイル最前ページに綴じることでスタッフに意識づけをしている	支援計画の内容を具体的にプログラムとして提示し、個々に合わせて活動につなげていく
2	ご家族と連携した子育て支援の強化	ママCaféや行事のお手伝いを通じスタッフと保護者の交流の場を作っている。また日頃の様子を連絡帳を通じて具体的に記入することで情報を共有している	毎年継続していくことで、保護者との関係を深め、子供たちの支援に活かしていく
3	外活動や公共施設の利用で社会参加の場を作っている	玩具の貸し借りや順番を守るなど、社会性を身につけるためのプログラムを取り入れている	積極的に公共交通機関を利用するなどさらなる充実を図りたい

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スタッフが不足し、見守り支援になってしまうことがある	送迎時間が集中・重複し、受け入れなどのスタッフが手薄とになってしまう	送迎スタッフを募集し、受け入れや支援委あたるスタッフを確保していく
2	クールダウンできるスペースがない	不穏時、音過敏、パニック発生時等、静かで落ち着ける 小スペースの確保が出来ない	外活動で公園に出かけるなど、フロアの人数を減らし環境を整える
3	スタッフが学びに対して受動的で自発的支援つながらない	日常に追われていて研修などに行く機会が少ない	毎月のスタッフ向けプリントで意識や理解を深め支援に役立てていく。個々に向けた課題などを明確化し、スタッフひとりひとりがすすんで支援できるような仕組みを作る